

おじゃまします！

文責：徳永哲郎（地域学校コーディネーター）

外国人研修生と交流 ～上道小6年～（7/8）

上道小の6年生が、境港市内の企業で研修中の4人のベトナム人技能実習生と交流しました。初めはお互いにやや緊張気味でしたが、カルタや七夕の短冊づくり、質問タイムなどによって少しずつ緊張が解け、笑顔があふれました。最後に、4人から「楽しかった」「うれしかった」「日本の文化がわかった」等の感想を聞くと、子どもたちも進んで挙手し、「カルタが強くてすごい」「日本とベトナムの違いをたくさん知ることができた」と返しました。4人は民族衣装アオザイ姿で、終始華やかな雰囲気での交流会でした。

この交流は総合的な学習の一環として、人権意識を高めることをめざして行われました。CSがめざす「誰もが輝くまちづくり」にとっても、人絹教育は大切です。ご協力いただいた各企業、境港市人権政策室等、多くの関係者の皆さん、ありがとうございました。



「よろしくお願いします！」



ベトナムのじゃんけんを体験



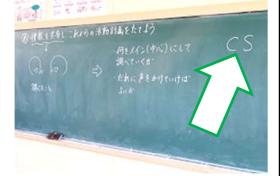
目を見て話を聞きます



カルタにも挑戦されました

境小の黒板に「みーつけた」！

境小も6年生の総合的な学習を見直し、境港の歴史や人材など自分たちで課題を決めて調べるそうです。「困った時はCSがある。進んで調べていこう！」先生の声が聞こえてくるような黒板でした。



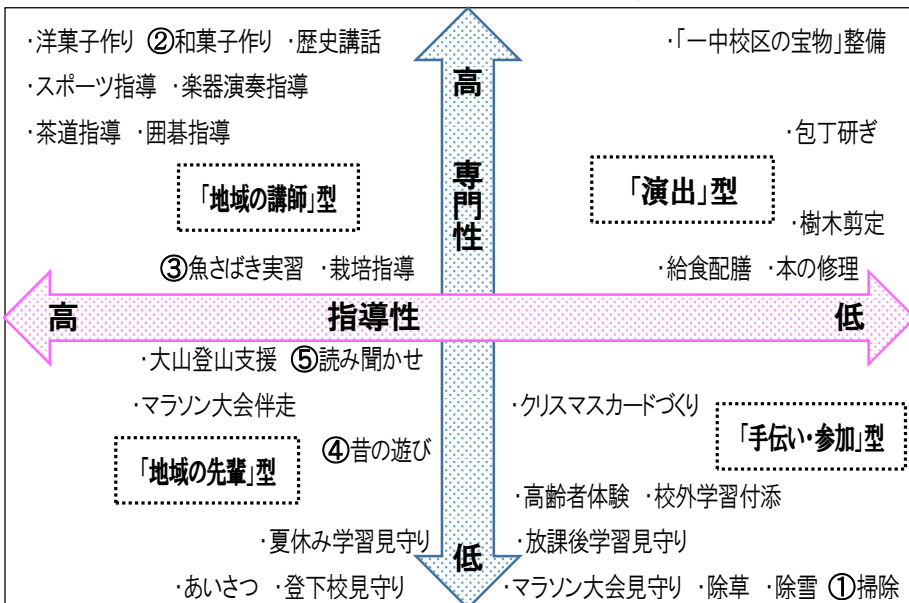
筆者雑感【ベトナムをもっと知りたくなった】

「ベトナムの有名人は？」と聞かれたら、誰を思い浮かべますか。私はベトナム戦争で民族を率いたホー・チ・ミンしか思い浮かびません。今回、自分がベトナムについてあまりにも知らないことを痛感しました。境港にはベトナム料理店がほぼありません。そんなまちで暮らす4人の思いや願いを聞いてみたいです。

特集

あなたも学校支援ボランティア！

一中校区で実際に行われている「人材の活用」を、**専門性**と**指導性**という二要素から**独断**で分けてみました。



左上区画のタイプは「ゲストティーチャー」として、専門性を生かして直接児童生徒の指導にあたります。

右下区画のタイプは、手伝いや交流が目的で、誰でも気軽にできます。

右上区画のタイプに注目。**野球場のグラウンド整備員**を思い浮かべてください。表にはあまり出ませんが、経験や「熟練の技」を生かして好ゲームを演出します。学校では、先生方の負担を軽減し、教育の質を充実させます。

学校ではいろいろな人材を求めています。ぜひお力をお貸しください。



①



②



③



④



⑤